


分野	53	循環型社会	通番 133
施策	532	ごみの減量と適正処理	
5年後の目標		市民と行政の一体となった取り組みにより、ごみの減量・分別と適正処理・リサイクルがいつそう進んでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	一般廃棄物等の適正処理 及び減量化啓発事業		会計	款	項	670,460,916	環境業務課
			一般	4	2		
事業の概要							
<p>平成29年度に「減らす」、「育てる」、「考える」を基本コンセプトとして改定した長岡京市一般廃棄物処理基本計画に基づき、生ごみや紙ごみを中心に更なるごみの減量化とリサイクル推進のための啓発活動を実施します。</p> <p>また、保育所、小学校への出前授業を通して、資源を大切にできる人を育てます。</p>							


令和2年度の取組							
D (取組)	指標(～H29年度)	家庭系ごみ(可燃)1人/1日あたり排出量				単位	g
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	471(平成26年度)	目標	449	445			
		実績	454	448			
	指標(H29年度～)	ごみの総量				単位	t
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	21,877 (平成27年度)	目標		21,205	20,869	20,533	20,196
		実績		21,441	22,107	22,382	22,234
	<ul style="list-style-type: none"> 乙訓環境衛生組合にてごみの処理を適正に行いました。 令和3年2月から指定ごみ袋制度を導入しました。また、同制度導入を周知するため説明会を26回実施しました。その他市内スーパー店頭等において啓発キャンペーンの実施や、広報車の放送による啓発を行いました。 給食調理くずリサイクル事業は、全ての公立の保育所5園、小学校10校、中学校4校で実施しました。 食品ロス削減の取組の推進のため、市役所玄関ロビーにて「フードバンク長岡京」主催のフードドライブ(食品寄付活動)を4回行い、159kgの寄付を受けました。 アゼリアエコチャレンジプロジェクト～環境への想いを絵にしよう(長岡中央商店街振興組合、教育委員会と共催)では、市内の小学4年生の絵画325点から選んだ4点を新庁舎建築の囲い及びごみ減量のしおりに掲載しました。 					指定ごみ袋	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		ごみの総量	ごみの総量は平成30年度から上昇傾向が続いていましたが、令和2年度は令和元年度と比べて若干減少しました。	212
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度のごみの総量は22,234tとなり、令和元年度(22,382t)と比べて0.7%減少しました。目標値(20,196t)と比較すると2,038t多い量です。 内訳としては家庭系ごみが0.4%増の15,955t(R1年度15,889t)、事業系ごみが3.2%減の6,279t(R1年度6,493t)でした。 令和3年2月より指定ごみ袋制度が始まったことで、2月・3月は令和元年度と比べてごみの総量が大きく減っており、令和3年度はごみの総量の更なる減少が期待できます。
課題等	指定ごみ袋以外で排出されるなどの違反ごみをより少なくするため、引き続き指定ごみ袋制度の周知と啓発が必要です。			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 長岡京市一般廃棄物処理基本計画に定めた目標(減量化、再資源化、最終処分量削減)に向けて、3つのコンセプト(減らす、育てる、考える)に基づき、ごみ減量施策を実施していきます。 指定ごみ袋制度を定着させるため、引き続き違反袋に対する対応や制度周知を行います。 食品ロス削減を出前授業やホームページ等で啓発するとともに、フードドライブ等を実施するフードバンク長岡京の活動を支援します。

分野	53	循環型社会	通番 134
施策	532	ごみの減量と適正処理	
5年後の目標		市民と行政の一体となった取り組みにより、ごみの減量・分別と適正処理・リサイクルがいつそう進んでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	分別によるリサイクル推進事業		会計	款	項	目	9,481,246	環境業務課
			一般	4	1	8		
事業の概要								
<p>ごみを減らす施策として、地域の集団回収の中から市民や事業所にも開放していただける古紙の拠点回収場所を登録いただき古紙のリサイクルを推進します。</p> <p>また、資源の有効活用と減量意識の高揚を図るためには市民参加型のごみ減量施策が重要であるため、自治会や各種団体など地域レベルの活動に対する支援を行います。</p>								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	再生利用率 (資源化量+集団回収量)/(ごみの総量+集団回収量) × 100			単位	%	
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	14.9(平成26年度)	目標	24.4	25.0	18.0	19.0	20.0
		実績	14.6	14.2	13.9	13.4	13.5
<p>・市民や事業者が古紙を排出しやすい環境を整備するため、古紙回収を行う団体に対して助成金を交付するなどして団体を支援することで古紙等の回収場所の拡大を図りました。</p> <p>・適正な資源物の排出を促進するため、分別ステーションでの指導等を引き続き行いました。</p> <p>・引き続き「スペシャルオリンピックス日本」応援プログラムに取り組みました。携帯電話155台を含む18.3kgの小型家電を回収することができました。</p> <p>・「宅配便を活用した使用済小型家電の回収サービス」で、パソコン824台を含む約6.5tの小型家電を回収することができました。</p>					<p>携帯電話回収ボックス(市内5か所)</p> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			リサイクル率	
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<p>・令和2年度のリサイクル率は13.5%となり、令和元年度と比べて0.1ポイント上昇しました。目標値(20.0%)と比較すると6.5ポイント下回る値です。</p> <p>・令和2年度のご紙等の集団回収量は1,607tで、令和元年度(1,798t)と比べて191t減少しました。</p> <p>・令和2年度の市役所敷地内拠点回収場所での古紙回収量は24,270kgで、令和元年度(15,860kg)と比べて8,410kg増加しました。</p>	
	課題等		・令和3年2月からの指定ごみ袋制度開始により、従前は可燃ごみとして排出されていた古紙等が集団回収等により資源として排出されることが見込まれるため、古紙等の回収機会をさらに拡充する必要があります。	

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	<p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>・長岡京市一般廃棄物処理基本計画に定めた目標(減量化、再資源化、最終処分量削減)に向けて、3つのコンセプト(減らす、育てる、考える)に基づき、ごみ減量施策を実施していきます。</p> <p>・古紙等のリサイクルをさらに推進するため、よりわかりやすい情報発信を行いつつ、集団回収活動団体の増加や拠点回収場所の拡充を図るとともに、市役所敷地内の回収ステーションの休日開放等を行っていきます。</p>